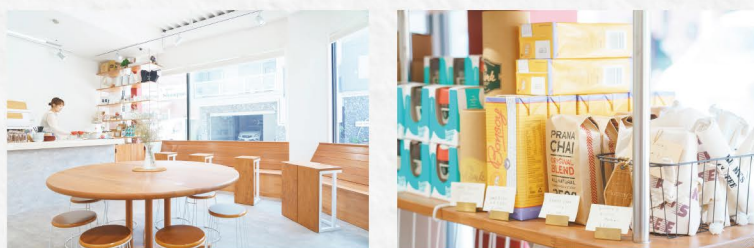


いずれは人の『叶えたい』を お手伝いできる存在に



上. 明美さんが癒れる一杯が、たくさんのお客様を引き付けています
左下. 日差しが差し込み、明るい空間が広がる店内 右下. コーヒー関連の
グッズも明美さんのこだわり

店準備に入ります。しかし物件も決まり、準備を進めていた矢先に令和2年7月豪雨が大牟田を襲います。店舗には被害が少なかつたものの、市内での被害が甚大だったため、業者さんと相談して被災された方の復旧仕事を優先してもらったこと。『工事予定が延びたことで、その期間にネット通販の準備やSNSでの宣伝活動に力をいれました。また少しでも地域のために、災害のチャリティーイベントも開催し、売り上げもすべて寄付しました。オープンが遅れたのは『もう少し待ちなさい』ってことなのだと思うことに

しました」とさまざまな経験があったからこそ、前向きに考えることができた。明美さんは話します。

大牟田のまちだから

2020年11月16日、念願のオープン。コーヒー豆はもちろん、エスプレッソマシンから店内のディスプレイ、取り扱うコーヒー関連の商品まで明美さんのこだわりが詰まった空間が誕生しました。特徴的な大きな窓のおかげで店内は明るく、お客さんの居心地がよいように、テ

次のステップへ

「時折、アルバイトの方に入ってもらっていますが、基本はひとり。いずれは



私のおおむたオススメすぽっと♪ ジェラード専門店 “カラヘ”



市内にある果樹農家直営の手作り本格ジェラード専門店。地元で生産された旬のフルーツを使った10種類以上の味を楽しむことができます。

KIMMY'COFFEEとコラボした“コーヒーみるく”もオススメ!



このまちだからできること

午前7時。官公庁や幼稚園などが連なる通りに、コーヒーの香りとともに「おはようございます!」と元気な声が響きます。通勤前にテイクアウトを頼む方、常連となっている近所のおじいさん…さまざまなお客さんが出入りする小さなコーヒー屋「@KIMMIY'S COFFEE(キミーズコーヒー)」は、スペシャルティコーヒーと気さくなオーナーが人気の2020年11月にオープンしたお店です。



さまざまな経験を積んで

オーナーの龍明美さんは大牟田生まれの大牟田育ち。高校卒業後、一般企業に勤めたものの仕事に悩むことも多く、そんなときに癒しの場となっていたのがカフェだったといいます。離職し、違う世界を見てみようとして23歳のときに「カフェのまち・メルボルンで働きたい!」とワーキングホリデーを使いオーストラリアへ。最初は英語もままならず、カフェで働いた経験もなかったため、まずはアルバイトをしながら語学を勉強。それから、バリスタの経験を積むために、ワーキングホリデーが切れた期間中に東京や横浜にある有名なカフェで働き、コーヒーの基礎やカフェの運営・経営についても学び、再びオーストラリアへ。「約2年間、勤務したカフェの倒産、いきなりのマネージャー任命など、予期せぬ出来事が繰り返し起こりますが、何事もポジティブにとらえるオーストラリアの方の気質に鍛えられました」といいます。横浜とメルボルンで経験を積み、「自分の店を持つ」土壌ができました。

オープン前のアクシデント

2018年12月に帰国。「お店は大牟田で構えたいと心に決めていました。また都心部では、忙しくて自分が求める癒しの空間を実現できないだろう」と、出